

福井大2018年度入試募集人員

学部	学科・課程・コースなど		入学定員	募集人員		
				一般入試		推薦、AO入試
				前期	後期	
教育	学校教育課程	初等教育コース	60	28	14	18
		中等教育コース	40	23	7	10
	学部計		100	51	21	28
国際地域	国際地域学科		60	35	15	10
医	医学科		110	55	25	30
	看護学科		60	30	10	20
	学部計		170	85	35	50
工	機械・システム工学科		155	78	70	7
	電気電子情報工学科		125	68	42	15
	建築・都市環境工学科		60	30	20	10
	物質・生命化学科		135	95	30	10
	応用物理学科		50	20	30	若干名
学部計		525	291	192	42	
合計			855	462	263	130

福井大は26日、2018年度の入学選抜要項を発表した。医学部医学科の推薦入試に設けている「福井健康推進枠」で、これまでは県内外を問わず10人程度を募集していたが、県外の高校出身者の受け入れを18年度から最大5人までにする。

福井大・医学科健康推進枠 推薦県外は5人まで

18年度要項

全体の入学定員は、教育学部100人、国際地域学部60人、医学部170人、工学部525人の計855人で、いずれも17年度と同じ予定。09年度から設けている同推進枠は、在学中の6年間、県の奨学金が貸与され、卒業後に県内の指定医療機関で臨床

研修を含め9年間勤務すると返還が免除される。医学部医学科の入学定員は、国の緊急医師確保対策で暫定的に5人増員されており、同推進枠で受け入れている。暫定措置が17年度で期限を迎えることから、県と福井大は延長を申請する方針。一方、国が医師確保の実効性を上げるために今後の増員分は地元出身者に限るよう求めており、同推進枠の要件を変更する。医学部医学科の推薦入試全

体の募集人員は17年度と同じ30人で、同推進枠の変更に伴い、これまで現役生だけだった全国枠の対象に前年の既卒者を加える。

また、工学部の2次試験後期日程で、機械・システム工学、電気電子情報工学、応用物理学科で行っていた「基礎物理・物理」と、建築・都市環境工学科で行っていた小論文を取りやめ、4学科とも「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」に変更する。物質・生命化学科は口述試験を含む面接を継続する。これに伴い、大学入試センター試験と2次試験の数学、理科の配点を直す。

大学入試センター試験は来年1月13、14の両日、2次試験前期日程は2月25日(医学部は26日も実施)、後期日程は3月12日にある。福井大の入学選抜要項は、大学の窓口やホームページから入手できる。問い合わせは同大文京キャンパス入試課☎0776(27)9927。(西脇和宏)